令和7年度「地域発　元気づくり支援金」事業実施結果一覧（北アルプス地域）

事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 （円）	うち支援金 （円）	講評
地域六事産業化推進事業	一般社団法人地域づくり美麻	若者の地域参加や移住促進を図るため、古民家の左官体験や地域文化体験ツアーを実施し、あわせて外国人向け相談フォーム整備や交流会、鹿革工芸講座とPR活動を行い、交流機会の創出と担い手育成を図った。 ①古民家の解体作業等（1,699千円）、外国人向け移住相談WEBサイト作成（79千円）、鹿革縫子養成講座（149千円）	1,926,151	1,490,000	移住希望者向けに居住可能な住宅が不足しているため、活用予定のない空き家を利用可能な宅地とするために解体作業を行いました。 また、移住・交流人口を増やすため、ワークショップやワーキングホリデーを開催しました。 鹿革の地場産業化に向けて、鹿革加工の担い手を育成する講座を開催しました。 移住・交流者との協働により、地域課題の解決に期待します。
キムジャンなどワークショップを活用した地域振興事業	おおまちキムジャン実行委員会	食文化を通じた交流人口拡大を図るため、大町市、軽井沢、東京においてキムジャンや水キムチづくりのワークショップを計6回開催し、地域内外の参加者による共同体験と継続的な交流の場を提供した。 ①広告宣伝・研修（566千円）、WS開催（978千円）	1,543,567	799,000	団体のシンボルであるロゴを作成し、事業の視認性が増しました。 大町市のほか軽井沢町や東京都で6回のワークショップを開催しました。 また、小海町の農家など他団体とも協働し、継続的な実施体制の構築につなげました。 地域協働の推進し、文化的理解の深化と地域・世代を超えた交流の創出に期待します。
大町温泉郷あかりプロジェクト	大町温泉郷観光協会	温泉郷の認知度向上を図るため、温泉郷内17か所で和傘装飾展示を行い、装飾箇所を巡るスタンプラリーや市内小中学生のデザインによるタオル制作、PR動画の制作・発信を実施した。 ①おもてなし飾り（450千円）、スタンプラリー（432千円),PR映像制作（90千円）、記念タオル制作（619千円）	1,592,564	1,048,000	温泉郷や鹿島槍スポーツビレッジなど17か所に和傘の装飾展示を行い、展示をめぐるデジタルスタンプラリーを行いました。 また、小中学生からロゴデザインを公募してつなぐタオルを作成し、宿泊者等へ配布しました。 PR動画を作成し、SNS等で発信しました。 地域全体で協力しながら、観光地としてのさらなる発展と賑わいづくりを期待します。
YAMANBAガールズと行う郷土食継承・発信の担い手育成事業	特定非営利活動法人ぐるったネットワーク大町	郷土食の担い手育成を図るため、郷土料理研究家を講師とした料理講習会を年4回開催し、市内でのランチ提供、レシピ集作成、銀座での発表会を実施した。 ①料理講習会（307千円）、1日レストラン（208千円）、レシピ集作成（515千円）、銀座での発表会（534千円）、視察研修（290千円）、事務局経費（511千円）	2,364,471	928,000	横山タカ子氏を講師に、季節ごとの料理講習会を開催しました。 市内レンタルスペースを活用してランチを提供しました。 秋のレシピ集を発行の他、銀座NAGANOでの発表会を開催しました。 新潟の大地の芸術祭への視察研修を行い、地元お母さんによるおもてなしを体験し、交流も行いました。 担い手育成と学び合いの良い循環を継続しながら、体験に物語性を持たせた付加価値の創出に期待します。
大町市SDGs学習旅行誘致協議会事業	大町市SDGs学習旅行誘致協議会	学習旅行の誘致を図るため、千葉市教職員を対象とした招聘事業や体験会を実施し、ガイド研修やパンフレット作成を通じて受入環境の整備を行った。 ①モニターツアー・プログラム体験（1,844千円）、ガイド研修（46千円）、パンフレット作成（316千円）	2,209,860	1,493,000	長野県への修学旅行が多い千葉市の教職員を対象に白馬村での農家民宿での体験と大町「水の学校」のSDGs探求学習プログラムを行いました。 また、農村ふれあい体験パンフレットの作成や、地元中学生にモニター体験してもらうことにより、プログラムのブラッシュアップを行いました。学習旅行の選定先となるようさらなる発展と賑わいづくりを期待します。
サイクルツーリズムによる観光エリアブラッシュアップ事業	一般社団法人大町市観光協会	自転車を活用した観光振興を図るため、青木湖周辺や白馬方面にサイクルステーションを整備し、サイクルロゲイニングイベントの開催や新たなサイクリングコース造成を行った。 ①イベント開催広告宣伝（1,100千円）、コースマップ制作（378千円）、動画制作・広告（1,320千円） ②e-バイク購入（620千円）	3,420,329	2,703,000	青木湖エリアにおけるレンタサイクル拠点整備を行いました。 サイクルロゲイニングを開催するほか、SNSなどでの情報発信を行い、魅力あるサイクリングコースも新たに作りました。 地域で連携し、より魅力的な観光地となることを期待します。
信州・思いやり防災キャラバン	日本防災士会長野県支部	地域防災力の向上を図るため、小中学校で防災出前授業を実施し、ダンボールベッドや携帯トイレ体験を含む実践的な学習と教職員向け防災研修を行った。 ①防災出前授業（65千円）、講演会開催（165千円）、避難所訓練（190千円）、防災イベント（42千円）、	462,038	345,000	児童・保護者・教職員が防災について考える機会となる出前授業や教職員研修を小・中学校や特別支援学校で開催しました。 さらに地域全体の防災意識向上につながる防災講座や避難所体験を公民館で開催しました。 様々な体験・学習を継続することで安心して生活できる地域づくりに繋がることを期待します。
「水」を起点とした地域ブランド振興と関係人口創出事業	信濃おおまち　みずのわプロジェクト	水資源の価値可視化を図るため、市内全域のデジタル水路網マップを整備し、市民参加型の水路探索ツアーを実施した。 ①デジタルコンテンツ整備（4,471千円）、かき氷レシピ開発（2,792千円）、水の魅力体験ツアー（450千円）	7,713,765	6,000,000	大町市内のデジタル水路網を作成するとともに、モニターツアーとして市民参加型水路網、水スポット探索を行いました。 また、市内飲食店と協働により、【信濃大町　雪下かき氷」を展開したほか、食を通じた水の魅力体感ツアーを行いました。 地域との協働により、水を活かした地域ブランド力の向上と関係人口の創出・拡大に期待します。
「マレットゴルフの町池田町」マレットゴルフ普及事業	池田町マレットゴルフ連盟	マレットゴルフ人口の拡大を図るため、初心者向けの平坦コースを設定し、親子・三世代・障がい者を対象とした体験型大会を開催した。 ①大会運営・広報（573千円） ②グリーン周辺整備（1,000千円）	1,573,020	1,208,000	信州山なみ国スポデモンストレーション協議の開催されるコースにおいて魅力向上のため、初心者コースを整備しました。 また、国スポのプレ大会として、親子・三世代・障がい者大会を開催しました。 親子等で参加できる大会を契機に、マレットゴルフ人口の拡大に期待します。

令和7年度「地域発　元気づくり支援金」事業実施結果一覧（北アルプス地域）

事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 （円）	うち支援金 （円）	講評
信州池田町サイクルロゲイニング2025及び自転車活用推進事業	一般社団法人池田町観光協会	自転車を活用した来訪促進を図るため、町内の観光スポットを巡るサイクルロゲイニングイベントを開催した。 ①広告宣伝（375千円）、イベント運営（674千円）、自転車ケア用品（437千円）	1,486,510	1,164,000	立ち寄りスポットへサイクルスタンドや自転車ケア用品を設置しました。 また、サイクルロゲイニングイベントを開催し、観光スポットや景勝地をめぐるイベントを開催しました。 地域で協働し、観光地の魅力発信につながることを期待します。
正調安曇節100周年記念事業	正調安曇節100周年記念事業実行委員会	正調安曇節の継承を図るため、100周年記念式典や民謡交流会、盆踊り大会を開催し、記念誌やDVDの制作、資料展示を行った。 ①記念式典（574千円）、記念誌・PR素材作成（3,305千円）、イベント開催（415千円）、小学生用カルタ作成（24千円）、事務費（50千円）	4,368,520	1,725,000	正調安曇節の創唱から100周年を記念して、記念式典・民謡交流会・大盆踊り大会・記念誌、DVD作製、正調安曇節作詞募集、音楽祭開催、創作劇公演などのイベントを企画、実施しました。 特に、正調安曇節作詞募集では、全国規模で募集を行い文化的な交流を深めることができた。 これからも、歌い継がれてきた歴史・文化として、正調安曇節が地域を問わず継承されることに期待します。
北アルプス地域材活用発信拠点推進事業	北アルプス森とつながる暮らし案内所	地域材利用促進を図るため、地域材在庫情報を掲載したWebサイト整備や薄板材を活用した試作商品開発を行った。 ①周知・流通促進（904千円）、商品開発（520千円）、イベント出店等（199千円）	1,623,066	1,223,000	北アルプスエリアの豊かな森林資源を有効活用するため、林業関係者、製材乾燥関係者、木材利用者などのサポートメンバーの紹介や、地域材在庫情報の案内などのWEBサイトを充実しました。 また、オリジナル商品を開発し、カタログの作成をしたほか、イベント出店を行いました。 関係者のつながりが深まり、北アルプス材の適切な活用につながることを期待します。
地域一体となった観光マーケティング活動及び国際山岳リゾートとしての観光誘客インフラの整備	一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM	観光誘客の強化を図るため、来訪者アンケートやビッグデータ分析を基に、海外旅行博への出展や旅行会社向けプロモーションを実施した。 ①フォトコンテスト開催（1,458千円）、動態・来訪者調査（1,894千円）、海外プロモーション（4,446千円）、学生招聘等（423千円）	8,222,330	4,320,000	大町市、白馬村、小谷村の自然・歴史景観に優れたHakubaValley八景を誘客素材とするフォトコンテストを開催しました。 また、来訪者へのアンケート調査を行ったほか、アンケートやビックデータ分析からアジア圏からの下記インバウンド客増加を目指し、旅行博への出展や、SNS広告を展開しました。 通年型山岳リゾートの観光地域づくりとして、グリーン期の誘客につながることを期待します。
学校と地域が連携したSDGs事業－ユニバーサルツーリズムを通じた「持続可能な環境防災まちづくり」の提案－	白馬村	SDGsをテーマとした学びの充実を図るため、学校と地域が連携し、環境防災を題材とした調査、体験、発表を組み合わせた学習活動を実施した。 ①教材作成（860千円）、②デジタルデータベース作成（360千円）、③リーフレットデザイン・印刷（280千円）	1,500,000	1,200,000	白馬村の中学生を対象に避難所宿泊体験やフィールドワーク等の学習支援を行い、白馬村公民館講座と連携したガイドツアーを行いました。 それらの取り組みをリーフレットにし、展示会や特設サイトに掲載することにより、住民の環境・防災意識向上に努めました。 地域と協働し、環境防災学習が観光資源になることを期待します。
白馬駅前における地域活性化事業	白馬駅前振興会	駅前エリアの賑わい創出を図るため、道路を活用した歩行者天国イベントを開催し、来場者向けの交流機会を提供した。 ①駅前清掃備品購入（124千円）、②交通誘導委託（102千円）、イベントチラシ作成・新聞折込（752千円）	977,712	733,000	県道白馬岳線の道路愛称選定に関わり、決定に伴う駅前ストリートフェス（歩行者天国イベント）を開催しました。 また、定期的に街路清掃を行うことにより、快適な観光コンテンツの整備を行いました。 協賛企業や出展者、地域との協働により、イベントや環境整備が継続することを期待します。
公共施設及び村内事業者へのCO2測定ツールの導入	白馬村	脱炭素施策の基盤整備を図るため、公共施設や村内事業者にCO_2排出量測定ツールを導入し、説明会の開催と測定支援を行った。 ①CO2測定プラットフォーム導入（2,200千円）、レポート作成（5,500千円）	7,700,000	6,000,000	公共施設及び村内事業者にGHGプロトコルに準拠したCO2測定ツールを導入し、CO2排出量の測定、可視化（レポート化）を行いました。 また、GPCに基づく脱炭素レポートの作成を行いました。 CO2排出量のデータ等を活用し、持続可能な観光地経営及びブランディングに期待します。
地域の自然資源活用と地域の魅力発信による女性の雇用創出事業	uni	女性の雇用創出を図るため、地域産クロモジやよもぎを活用し、収穫から加工、商品化、販売までを一体的に実施した。 ①ECサイト制作（792千円）、パッケージ制作（105千円）、マルシェ出店（87千円）、パンフレット制作（57千円）	1,041,621	781,000	小谷村産のクロモジやよもぎを収穫から加工、販売、カウンセリングまで一貫して行いました。 また、ECサイトを構築し、オンラインでの購入体制を構築しました。 女性の雇用の創出し、地域資源を活かした新たな産業の確立を期待します。
大糸線利用促進事業	小谷村大糸線振興会議	大糸線の利用促進を図るため、駅開業記念イベントへの参加や駅前でのPR活動を実施した。 ①着ぐるみ用ハッピ作成（495千円）、委員用ハッピ作成（330千円）	825,000	618,000	小谷村キャラクター「たりたり」にオリジナルの大糸線応援ハッピや帽子を着用し大糸線のPRに活用する。 また、小谷村大糸線振興会議委員も同じデザインのハッピを着用してイベント運営を行うことにより、大糸線の周知は図りました。 PR素材を活用することにより、大糸線の利活用促進を期待します。

令和7年度「地域発　元気づくり支援金」事業実施結果一覧（北アルプス地域）

事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 （円）	うち支援金 （円）	講評
雨飾高原キャンプ場開業30周年事業	一般社団法人GreenProject	地域との交流促進を図るため、地域住民が講師となる郷土料理づくり、蕎麦打ち、木工体験などの有料体験コンテンツを実施した。 ①ワークショップ開催（960千円）	960,410	768,000	地域の方の交流拠点となるため、地域伝統文化をコンテンツ化し、地域の方が講師となり、体験を提供する仕組みを作りました。 また、防災及び自然環境保護の啓蒙活動を行いました。 地域と協働し、地域文化体験を提供することによる関係人口の創出や魅力ある観光地づくりに期待します。
北アルプス山麓新たな魅力ある体験メニュー開発・造成研究事業	食・農林業体験と農家レストラン・民泊等研究会	学習旅行等の誘致強化を図るため、地域資源を活用した体験メニュー検討会を開催し、旅行事業者向け電子広報資料を作成した。 ①新メニュー開発・磨きこみ検討会開催（38千円）、電子広報作成（505千円）、事務用品等（99千円）	642,088	492,000	旅行業界へ売り込みを図るため、検索性に優れる体験メニューの電子広報資料を作成しました。 また、体験メニューのブラッシュアップをするために、研修会を開催し、北アルプス山麓ブランド認定品を使った体験メニューを体験する機会を設けました。 引き続き関係団体と連携し、当地域の農畜産物等の魅力を広く発信することで、ブランド品としてさらに認知が広まり、販路拡大・販売促進につながることを期待します。
北アルプス山麓育ち観光誘客事業	「北アルプス山麓育ちin首都圏」実行委員会	観光誘客の促進を図るため、台湾や首都圏において観光・教育旅行向けのプロモーションや商談会を実施した。 ①教育旅行セミナー（1,218千円）、体験旅行セミナー（96千円）、旅費（1,104千円）、スイーツプロジェクト（163千円）、事務用品等（55千円）	2,636,596	1,935,000	一般旅行・学習旅行の誘致を図るため、彰化県、雲林県の政府関係者を表敬訪問及び各地域において観光誘客セミナー、教育旅行セミナーを行い、首都圏からの誘致を図るため、旅行事業者を対象としたプレゼンテーション・商談会を行いました。 また、北アルプス山麓ブランド認定品を使ったスイーツのコンテストを行いました。 今後も市町村と連携し、当地域の魅力を広く発信し、誘客及び地域活性化につながる取組となることを期待します。
北アルプス山麓ブランド活性化推進事業	北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会	ブランド認知度向上を図るため、北アルプス山麓ブランドの認定審査や台湾での物産展、PR活動を実施した。 ①広報活動（211千円）、北アルプス山麓ブランド認定品のPR促進（509千円）、認定品の販売促進（150千円）	869,398	695,000	北アルプス山麓ブランドの海外展開として、台湾の日本食スーパー「裕毛屋」で物産展を開催するとともに、台湾に販路を持つ「(株)祐源」などと商談会を開催しました。 また、北アルプス山麓地域で生産される農畜産物等のブランディングや認知度向上のための取組を実施しました。 引き続き関係団体と連携し、当地域の農畜産物等の魅力を広く発信することで、ブランド品としてさらに認知が広まり、販路拡大・販売促進につながることを期待します。